

Platon1.8.2 STORM教材のIE9/10における閲覧障害の回避手順

Platonサーバ内の設定ファイルを変更することで、閲覧障害が回避できます。

変更対象ファイル：

Platonインストールディレクトリ直下の、.htaccess ファイル

変更内容：

当該ファイルの14行目付近の

```
##### header #####  
### IEで互換表示をさせない ###  
Header set X-UA-Compatible "IE=edge"  
### XSSフィルタの有効/無効 ###  
Header set X-XSS-Protection "1; mode=block"
```

となっている箇所の、

```
Header set X-UA-Compatible "IE=edge"
```

の行の先頭に「#」（半角シャープ）を追加します。

(変更後)

```
##### header #####  
### IEで互換表示をさせない ###  
#Header set X-UA-Compatible "IE=edge"  
### XSSフィルタの有効/無効 ###  
Header set X-XSS-Protection "1; mode=block"
```

ファイル変更後直ちに反映されます。サーバの再起動などは不要です。

※ただし、既に一度閲覧障害が発生している閲覧PCでは、Webブラウザに残ったキャッシュによって直ちに解消されない事があります。
その場合、Webブラウザ側でキャッシュクリアを行う必要があります。

変更方法：

Platonサーバのコマンドコンソールにログインし、

viなどのエディタを使用して変更します。

もしくは、FTPツールを使用して変更済みのファイルを上書き、でもかまいません。